

平成29年6月2日

## 海運業疑似体験システムの活用について

内航海運は、国内貨物輸送の約4割を占め、国内における大量・長距離輸送の担い手として活躍しています。本市の海運業は市の基幹産業であり、県内の6割となる約100社の船舶事業者、約800人の船員が従事しています。海運業界全般の課題としては、船員の高齢化や若者の就労者減少による担い手不足が顕著化しており、本市においても例外なく喫緊の課題となっています。

そこで、課題解決に向けて海運業関係団体で組織する上天草市海運業次世代人材育成推進協議会を平成28年2月に設置し、海運業担い手支援対策に取組み、その取組みの一環として、平成28年度地方創生加速化交付金を活用し「海運業疑似体験システム」（総事業費25,866千円）を導入しました。

このシステムにより若年層の海運業への理解を深め、海運業を広く周知することで、将来の職業選択肢の一つとして海運業を考えていただくためのものです。同協議会では、今後このシステムを活用して次世代を担う小中高校生を含む若者を中心に海運業の魅力を発信し、船員の担い手確保に努めます。

### 【事業概要】

#### 1 海運業疑似体験システムの概要

海運業疑似体験システムは、※プロジェクションマッピング技術を用い、船舶航行中の様子や船員の生活などのリアルタイムな映像を遠隔地に放映し、その場に居ながらにして臨場感あふれる現場を体験するものです。

#### ※プロジェクションマッピング技術

遠隔地の空間を投影し目の前に別空間が広がり、遠くにいる人でも距離を越えてすぐ隣にいるかのような感覚を生み出す技術

#### 2 海運業疑似体験システムの今後の活用

まずは、市内小中高校生を対象に海運業疑似体験システムを活用した出前講座を各学校で開催をして、市内を中心としたPR活動を展開するとともに、他自治体とも積極的に連携し市外でも本システムを活用した出前講座の開催を予定しています（別添 平成29年度海運業疑似体験システム運用年間スケジュール）。

### 3 上天草市海運業次世代人材育成推進協議会概要

#### 目的

海運業の喫緊の課題である担い手不足を解消するに当たり、海運業の魅力や果たす役割並びに海の大切さについて広く市内外に周知するとともに、海運業に取り組む民間事業者が抱える課題等に関して必要な助言等を行うことで、もって、海運業の振興の一助となることを目的とする。

#### 協議会委員

・熊本県海運組合 ・全日本内航船主海運組合三角連絡所 ・九州運輸局熊本運輸支局 ・国立口之津海上技術学校 ・熊本県立上天草高等学校 ・熊本県立天草拓心高等学校 ・株式会社熊本銀行 ・株式会社肥後銀行 ・上天草市教育委員会事務局 ・上天草市



#### (連絡先)

経済振興部産業政策課

担当：水野課長、濱田係長

電話：(直通) 0964-26-5532

FAX：0964-56-5107

# 平成29年度 海運業疑似体験システム運用年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市内小学校 3校				← 事前協議・準備 →			← 実施 →					
市内中学校 2校				← 事前協議・準備 →			← 実施 →					
市内高校 1校					← 事前協議・準備 →			← 実施 →				
市外 1カ所					← 事前協議・準備 →						← 実施 →	